

KNOW THE ISLANDS

島を知る

奄美群島は島ごとにその成り立ちや風土、自然環境や文化、言葉も少しずつ異なっています。けれどもあたたかな島民性と、人と人のつながりを大切にすることは、どの島にも共通するところかもしれません。

島で暮らす・働くには、まずその島を知ることが第一歩。生活をしていくのに自分が大切にしたいこと、必要なことを整理するところから始めましょう。



AMAMI-OSHIMA
奄美大島
加計呂麻島
請島・与路島

奄美大島は奄美群島のなかでもっとも大きく、国内離島のなかでも2番目に大きい島です。島の約8割は森林部で、深い山と湿潤な気候によって希少で多様な生物種が生息し、2021年には世界自然遺産に登録されました。

自然だけでなく文化も多様性に満ちており、シマ唄や八月踊りなどの文化芸能やショチョゴマ、諸鈍シバヤといった伝統行事が大切に保存・伝承されています。

生活条件としては、総合病院が複数あり、高校までの学校や介護施設なども多くありますが、中心部の奄美市名瀬に集中する傾向があります。



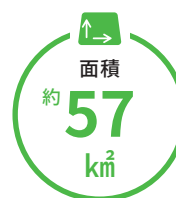
※特別支援学校含む



KIKAIJIMA
喜界島

サンゴ礁が隆起してできた島で、奄美大島から飛行機で約20分の距離にあります。大規模な地下ダムによって水源を確保し、平坦な地形を生かしたサトウキビ栽培や畜産などが盛ん。また、白ゴマの生産量は日本一で、小粒ですが香り高いゴマを生かしたゴマ油やゴマの黒糖菓子などが特産品として人気です。

目立った観光施設などはありませんが、多くの蝶が飛来する「蝶の島」という特色や、巨大なガジュマルや海へと続くサトウキビ畑の一本道などフォトスポットも多く、近年観光地としても注目を集めつつあります。



TOKUNOSHIMA
徳之島

奄美群島で2番目に大きな島。島の成り立ちは奄美大島に似ており、森林部にはアマミノクロウサギをはじめとする希少生物が生息しています。2021年に世界自然遺産に登録されました。「闘牛の島」として有名で、年に数回開催される闘牛大会には全国から多くの観光客が訪れます。サトウキビ、畜産、ジャガイモ、果樹栽培などの農業のほか観光業も盛んで、冬場は企業・大学などのスポーツ合宿地としても選ばれています。

また、世界一の長寿者を2名輩出し、出生率の高い長寿・子宝の島でもあります。



OKINOERABUJIMA
沖永良部島

隆起サンゴ礁の島で、「花の島」として有名。島の名前が「エラブユリ」など花き栽培が盛んで、時季になると島中が花々で彩られます。サトウキビやジャガイモなどの栽培も多く、農業に従事する人が多いのも特徴です。

文化圏としては徳之島以北と比べて琉球文化の要素が強くなり、言葉や文化芸能などでも特色が感じられます。島の地下には広範囲に鍾乳洞が広がっており、鍾乳洞探検は人気の観光アクティビティとなっています。



YORONJIMA
与論島

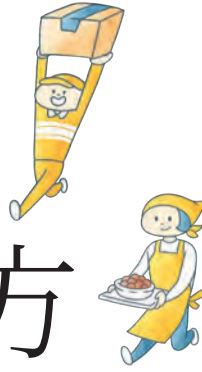
奄美群島の最南端にある隆起サンゴ礁の島。面積わずか21平方キロメートルですが、高い透明度と豊かなサンゴ礁の美しさから、「東洋の真珠」とも呼ばれています。沖縄本島が見えるほどの距離にあり、観光業が盛ん。干潮時に現れる幻の白浜「百合ヶ浜」などが人気スポットです。サンゴ礁や景勝地もさることながら、訪れる人々を温かくもてなす島民性にひかれ、幾度も島を訪れるリピーターも多くいます。

小さな島だからこそ、島民相互に助け合い、「心」を大切に「誠の島」と言われています。



NEW WORKING

新しい働き方

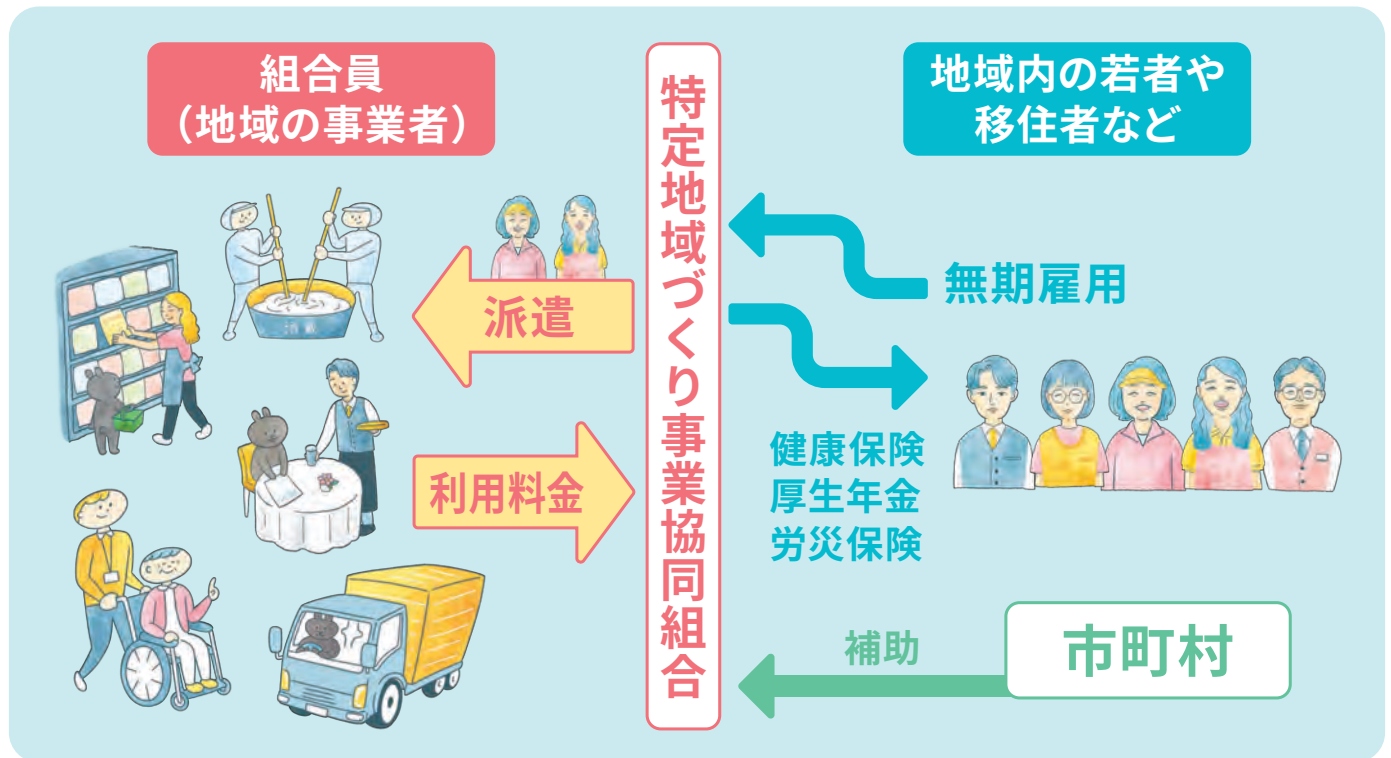


特定地域づくり事業協同組合とは

特定地域づくり事業協同組合制度は、人口が減少している地域で安定した雇用を確保し、地域の担い手を育成することで地域活性化を進めることを目的に、2020年に創設された制度です。

この制度では、協同組合が地方で働きたい移住者や地域住民を無期雇用労働者として雇用し、「マルチワーカー」として、複数の仕事に携われる仕組みを導入しています。農業や観光業、飲食業など、季節によって忙しくなる仕事を組み合わせることで、年間を通じて安定した働き方ができるのが特徴です。

さらに、地方に住みたい若者や働き手を求める事業者、そして移住者が増える地域を生み出すことで、地域全体がWIN-WINの関係を築くことができる点でも注目されており、地域活性化に大きく貢献しています。



移住したいけれど仕事や住居に不安がある方、
自分に何が向いているのか人生の軸を見つけたい方。そんな方々と、人手不足に悩む事業所を
マッチングさせる「特定地域づくり事業協同組合」の制度を使うメリットをご紹介します！

POINT 01

安定した雇用環境で働けるので、移住生活がしやすい

マルチワーカーとして、シーズンごとや、平日・休日、午前・午後など、地域の複数の仕事の組み合わせで、一年を通じて仕事が途切れることなく働けるので、安定した移住生活が送れます。

POINT 02

移住者は若い世代が多く、そのまま定住する人も多い

奄美群島における組合の派遣職員は6割が20代、30代の若い世代で、7割が地域外からの移住者。派遣職員退職後も、自分で起業したり、派遣先の事業所に就職したりするなど、7割の人がそのまま地域に定住しています。

POINT 03

仕事を通じて地元の方々とつながりができ、地域にスムーズに溶け込める

組合を通じて普段出会えないような業種の方や地元の方々とつながりができ、地域にスムーズに溶け込むことができます。お祭りなどの地域活動や行事に参加することで、地域活性化にも貢献できます。

エリア別

協同組合の紹介

鹿児島県内で初めて認定を受けた沖永良部島の組合を皮切りに、与論島、徳之島伊仙町、喜界島そして奄美市と、現在奄美群島では5つの「特定地域づくり事業協同組合」が活動しています。島の特性や、労働需要に応じた職業も各島によって異なりますので、それぞれの協同組合の特徴や強みをご紹介します。



奄美大島

奄美市

奄美市しまワーク協同組合

2023年5月15日 設立



📍 奄美市名瀬港町3番10号 小原ビル3階
☎ 0997-57-1597 ✉ y.nagase@amami-work.com

奄 美市しまワーク協同組合は、奄美大島を知らない方々と島の事業者が出会い、共に働き、生活しながら島の魅力を深く知り、愛していただけることを心から願っています。豊かな自然や地域社会に触れ、仕事を通じて地域に貢献し、共に成長できる環境を提供しています。

私たちは、移住を希望する方々と地元の事業者がつながる「入口（ゲート）」としての役割を果たし、移住者と島の事業者の橋渡し役となり、地域社会に貢献しながら未来を築くお手伝いをいたします。移住後も地域との絆を大切に、移住者が奄美大島での新しい生活を心豊かに実現できるよう、さま

ざまなサポートを行い、共に成長し続けることを目指しています。

組合からのメッセージ

奄美大島への移住を希望する方、男女問わずぜひ一度ご連絡ください！島での新しい生活を安心してスタートできるよう、仕事探しから暮らしの面まで全力でサポートいたします。お気軽にご相談ください。

主な職種 農業、宿泊業、観光業、飲食業、事務職など

喜界島

喜界町

喜界島よろこBiz協同組合

2025年4月11日 設立



📍 大島郡喜界町湾471-9
☎ 0997-57-1697 ✉ kikajjima.yorokobiz@outlook.jp

サ ング礁の大地が隆起してきたサングの島、喜界島には多くの「島の仕事」があります。

地元の事業者の方々は忙しい時期を支えてくれる人を求めています。一方で、移住を考える人は「どんな仕事があるのかわからない」と感じていることも。

この両者をつなぐために、喜界島よろこ

Biz協同組合では「マルチワーク型」の雇用制度を活用し、固定給・社会保険完備・家賃補助・通勤補助のある安定した働き方を整えています。

気になることは、Zoomや電話でのご相談にも対応していますので、お気軽にご相談ください。当組合では、移住に必要な「住まい」「仕事」「生活スタイル」についてもまとめて

ご相談いただけます。自分らしい仕事を見つけて、新しい生活を形にしていきましょう。

組合からのメッセージ

慌ただしい毎日を離れて、“自分のペース”で暮らしながら働いてみませんか？未経験でも大丈夫。島の仕事は、自然と人のあたたかさに包まれています。まずは来島して、島の空気を感じてみてください。実際に歩くと、想像と違う魅力が見えてきます。

主な職種 農業、加工業、サービス業、介護業など

徳之島

伊仙町

とくのしま伊仙まちづくり協同組合

2022年9月21日 設立



📍 大島郡伊仙町古里185番地2

☎ 0997-86-3377 ✉ isen.machidukuri@gmail.com

徳 之島は「長寿子宝の島」として知られ、子どもや高齢者が多く、元気あふれる地域です。産業は農業が盛んで、一次産業が地域を支えています。とくのしま伊仙まちづくり協同組合では、現在20代から60代の男女7名（男性1名、女性6名）が活躍しており、そのうち6名は1ター、1名はUターで島に移住しています。業務内容は農業、

児童福祉（こども園・学童保育）、介護福祉などで、島ならではの体験ができ、元気な子どもたちや高齢者と関わるができます。また、働く職員の中には、マルチワークを通じて「好きな仕事」を見つけた方や、キャリアアップのために資格取得を目指している方もいます。さらに、伊仙町と連携し、空き家対策事業も行って、移住時の「家探し」

もサポートしています。仕事と住居が決まることで、安心して移住生活をスタートすることができます。

組合からのメッセージ

温暖な南の島で、「あなた」に合った「暮らし」と「働き方」を見つけてみませんか？マルチワークを通じて、まだ知らない自分と出会えるチャンスです。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

主な職種 農業、福祉業、介護業など

沖永良部島

和泊町

えらぶ島づくり事業協同組合

2021年4月13日 設立



知名町

📍 大島郡和泊町和泊10番地

☎ 0997-92-2475 ✉ info@erabu.or.jp

え らぶ島づくり事業協同組合では、島での多様な働き方を支援しています。労働者派遣事業（マルチワーク）を通じて安定した雇用を提供し、幅広い仕事の紹介を行う有料職業紹介事業や、移住定住促進事業としてオンライン交流会や移住体験ツアーを実施し、移住者や交流人口の増加をサポートしています。私たちは、島での起業や仕事

を希望する一人ひとりに寄り添い、共に考え、提案することを大切にしています。個々の希望に合わせた柔軟な支援を行い、地域活性化に向けた取り組みを進めています。島での暮らしは新しい挑戦ですが、その挑戦を支えるためにリソースを最大限に活用し、移住者や島民が力を合わせて豊かな社会を作り上げるお手伝いをします。共生と協働の精

神で島に豊かさや笑顔をもたらすことを使命とし、新たなスタートをお手伝いできることを嬉しく思います。

組合からのメッセージ

島では特に農業人材と介護人材が不足しています。初めての方でもやる気があれば、事業者さんは喜んで受け入れてくれます。ご興味のある方は、ぜひご連絡ください！

主な職種 農業、宿泊業、医療業、介護業、小売業、福祉業、食品製造業、運送業など

与論島

与論町

ヨロンまちづくり協同組合

2022年4月1日 設立



📍 大島郡与論町茶花33番地

☎ 0997-85-1771 ✉ yoron.machidukuri.info@gmail.com

あ なたのヨロン島、試してみませんか？言葉にできない魅力が詰まった環境は島育ちの自分でも「すごい島」だなと感じています。人も自然も近い、直径約5キロの小さな島では移動が短縮され、プライベートな時間が増え、人それぞれの島時間を楽しめますよ。

私どもは官民一体となって制度運営をして

おり、制度を通じて幸せな島づくりに貢献したいと願います。

1. 地域づくり人材（あなた、組合職員、マルチワーカー）2. 組合員事業者（新しい環境、派遣先、自分を知る場所）3. 組合（あなたのサポーター、派遣元、遠い〇〇より近くの組合事務局）3者が相互扶助の精神で互いに努力し助け合いながら地域経済の

活性化、地域社会の維持に寄与します。月に1度の地域全体研修では地域定着につながるような研修を行っております。

組合からのメッセージ

島を元気にしたい、おもしろくしたいという想いを持つ、「ヨロン島出身者」やリピーターの方、情熱を持った方、資格を活かしたい方をお待ちしています。シェアハウスでの共同生活に興味がある方もぜひご連絡ください。みんなで笑いながら頑張ろう！

主な職種 農業、小売業、宿泊業、観光業、飲食業、介護業、児童福祉業、事務職など



奄美市しまワーク協同組合

飲食業

●福島県福島市出身
●20代

組合で携わった仕事の内容

地元へ根付いたホテル内レストランや人気のライブハウス、リゾートホテルでのスタッフとして、地域密着の接客・サービスを提供しています。

特定地域づくり事業協同組合を志望した理由・きっかけ

地域おこし協力隊に興味があったことから、転職活動中に移住スカウトサービスに登録しており、しまワークからスカウトをいただいたのがきっかけです。奄美市の移住者向け就業体験支援制度を利用し、奄美に1週間滞在をしましたが、その際に触れ合った人の温かさに魅了され、移住を決意しました。

制度を利用して思うこと、良かったこと

一番はご縁をたくさんいただけることです。短期間で様々な職種を経験することができますが、仕事以外にも各コミュニティの方との交流ができるため、多くの方と関わる機会があります。知り合った方と飲みに行ったり、地域のイベントに参加したりなど、とても充実した島ライフを送ることができます。



喜界島よろこBiz協同組合

製造業

●神奈川県横浜市出身
●50代

組合で携わった仕事の内容

島の基幹産業であるサトウキビを原料とした黒糖や、ゴマなどの加工品の製造補助・梱包・配送・販売などの業務を行っています。

特定地域づくり事業協同組合を志望した理由・きっかけ

離島での生活を希望し、何度か訪れた喜界島の豊かな自然と人の温かさに惹かれました。知人もいない中ではありますが、よろこBiz様にお声がけいただいたご縁をきっかけに、喜界島でしかできない仕事に挑戦したいと志望いたしました。

制度を利用して思うこと、良かったこと

地元企業をご紹介いただいたことで、島の方々とのつながりが生まれ、地域に溶け込むきっかけとなりました。また、担当者の方がまめにサポートしてくださり、安心して新しい環境に挑戦できた事が良かったです。

特定地域づくり事業協同組合
派遣職員の

声
Voice



とくのしま伊仙まちづくり協同組合

保育業

●福井県永平寺町出身
●20代

組合で携わった仕事の内容

認定こども園での保育業務や、学童のスタッフとして、子供に触れ合うだけでなく、パソコン入力などの簡単な事務作業まで、対応しています。

特定地域づくり事業協同組合を志望した理由・きっかけ

自然な暮らしを求め、地方での仕事を探していました。移住スカウトサービスに登録後、組合から声を掛けられ、その存在を知りました。派遣先として、興味のある職種があった点や、多様な職種で未経験の仕事にも挑戦できる点に魅力を感じ、志望しました。新たな挑戦を通じて成長できる機会を得たと感じています。

制度を利用して思うこと、良かったこと

年間を通じて複数の職場に行くので、多様な経験ができ、新しい刺激を得ることができます。職場が変わるごとに知り合いが増え、地域にもなじみやすいです。派遣職員という働き方となるので、適職を探す方や移住を考える方にも挑戦しやすい制度で、何かあれば事務局に相談できる点も心強いです。



えらぶ島づくり事業協同組合

宿泊業

●神奈川県横浜市出身
●30代

組合で携わった仕事の内容

沖永良部と言えば農業のイメージが強いですが、農業以外にもスーパーの青果部門、ケータインショップでのサポート、ホテルのフロントなど、様々な仕事を経験しています。

特定地域づくり事業協同組合を志望した理由・きっかけ

転職活動中、農林水産系の転職サイトに登録して転職先を探していた際、えらぶ島づくり事業協同組合を見つけました。生活環境と仕事内容の変化に不安もありましたが、もし始め先の環境が自分に合わなかったとしても、すぐに新しい勤め先を紹介していただけるという組合の制度に惹かれ、志望しました。

制度を利用して思うこと、良かったこと

様々な仕事に従事することができるので、常に新鮮な気持ちで業務に当たる事ができます。その分、新しく覚える事も多く大変な面もありますが、基本的に人手不足で困っている事業者さんの所にお邪魔するので「来てくれてありがとう」と仰っていただけます。必要とされている実感が強く持てるので、とてもやりがいがあります！



ヨロンまちづくり協同組合

販売業

●北海道札幌市出身
●20代

組合で携わった仕事の内容

平日はこども園、週2日はカフェやスーパーでマルチワークをしています。スーパーのレジ打ち、こども園での保育補助、宿泊施設内カフェ業務など、様々な業務をこなしています。

特定地域づくり事業協同組合を志望した理由・きっかけ

初めて来た時に魅了されて以来、ずっとヨロンに住みたいと思っていました。ですが主人と2歳の子と大型犬2匹で住める物件が見つからず、家問題で困っていた時に見つけたのが、ヨロンまちづくり協同組合でした。住居と仕事を提供してくれることに魅力を感じ志望しました。

制度を利用して思うこと、良かったこと

組合を通して新たな業務を経験し、それぞれの事業所の楽しさを感じています。できないと思っていた仕事も実際にやってみると自分に合っており、働いてみたいとわからないことがあると気づきました。移住の不安もありましたが、島民の方々も友好的で、多くを学びながら楽しく仕事をしています。



SENIOR INTERVIEW

先輩に聞いた

奄美群島で働く「先輩」たちにお仕事のこと、暮らしのことを聞きました。さまざまな背景ストーリーがあるなか、島を選び、島で働く先輩たちの言葉は参考になるばかりです。



奄美市
01

企業情報
Work編 01

株式会社アーダン 本社
株式会社奄美養蚕（アーダングループ）/代表

俊岡 純男 さん

Sumio Toshioka

PROFILE 2024年入社

宇検村湯湾生まれ
1996年 宇検村立田検中学校卒業
1999年 鹿児島県立大島高等学校卒業
2000年 鹿児島県宇検村役場入庁
2024年 株式会社アーダン入社

ある1日のスケジュール

8:30	● 出社、朝礼、掃除
9:00	● カイコのエサやり、飼育道具の洗浄・消毒
12:00	● 昼食
13:00	● 桑畑の管理作業
17:00	● 飼育記録の入力
17:30	● 退社

奄美大島での養蚕業に関われていることにやりがいを感じています。

Q1 入社を決めたきっかけは？

体を動かす仕事に興味があったこと、そして奄美大島ならではの仕事がしたいという思いから仕事を探していました。そうした中で、奄美大島では現在も養蚕業が行われていることを知り、自分の思いに合った仕事だと感じて入社を決めました。

Q2 いまの仕事内容は？

弊社では1度にカイコ6万頭の飼育を年8回行っています。1回の飼育は1ヶ月以上かかり、エサやりはもちろん、必要な道具の準備や片付け、清掃・消毒など多くの業務があります。また、桑園の草刈りや剪定などの管理業務もあります。

Q3 どんな時にやりがいを感じますか？

全国的に養蚕業が減少する中、シルク化粧品を生産・販売を通じて、奄美大島の養蚕業の可能性を広げる仕事に携わっていることにやりがいを感じています。手間をかけて育てたカイコが、良質な繭を作ってくれた時が一番嬉しいです。

Q4 職場の雰囲気はどうか？

日頃の会話を大切に、スタッフ全員で意見を出し合い、協力して業務を進めています。業務中は島のラジオや音楽を流して気持ちよく作業しています。仕事は集中し、休憩時は笑顔でおしゃべりする、メリハリのある職場です。

Q5 島で働くことについてどう思いますか？
(メリット・デメリットなど)

地域のつながりが強く、社内だけでは対応が難しいことも知人や友人に相談できる点は、島で働く大きな魅力だと感じています。一方で、商品発送や桑園の管理は台風など天候の影響を受けやすく、難しさもあります。そうした環境の中で働くことにやりがいを感じながら、これからも自社商品と奄美の魅力を多くの方に発信していきたいです。

Q6 島の暮らしや休日の過ごし方は？

子どもは島外で暮らし、現在は夫婦二人で生活しています。休日は庭の手入れや映画鑑賞、散歩を楽しんでいます。豊年祭や敬老会、奉仕作業などの集落行事にも参加し、地域の方々とつながりのある環境で暮らしています。

【企業担当者からのメッセージ】

弊社は創業30年を迎えた、化粧品製造販売を主軸とするシルク専門メーカーです。養蚕から研究、企画、開発、製造、物流、販売まで一貫して行い、職種の幅広さが特徴です。各部門の状況に応じて随時募集し、仲間を増やしていきたいと考えています。

Q1 入社を決めたきっかけは？

テーマパークでの就業経験を生かし、接客スキルを生かせるホテル業の求人を探していました。「島の熱狂的なファンづくりが私たちの仕事です」という企業キャッチコピーに共感し、島の好きなところを伝えながら島を盛り上げる事に魅力を感じ応募しました。

Q2 いまの仕事内容は？

レストラン研修を経てフロントに所属しています。ゲストのチェックイン・アウト対応、客室案内のほか、朝夕食のご案内や島での滞在プランについてのご提案など多岐にわたる接客業務を担当しています。

Q3 どんな時にやりがいを感じますか？

お話をすることが好きなので、ゲストにご紹介した観光スポットやお店を気に入っていただいた時はとてもうれしく感じます。何よりリピートして下さるゲストにまた会えることが一番のやりがいです。

Q4 職場の雰囲気はどうか？

とにかく仲が良く明るい職場で、雰囲気がとても良いので仕事が続けやすいです。出産時に一度職場を離れましたが、Miru Amamiに絶対戻りたいと決めていました。職場の雰囲気やチームで働くことの良さを実感しています。

Q5 島で働くことについてどう思いますか？
(メリット・デメリットなど)

島での仕事は選択肢が限られがちですが、

島の好きなところを伝えながら、島を盛り上げられることがこの仕事の魅力です。

Miru Amamiでは多様なスキル向上と島外での経験が得られ、デメリットが浮かびません。豊かな自然環境と働きやすさは子育てを両立する上でもメリットです。

Q6 島の暮らしや休日の過ごし方は？

島の行事への参加や、家族と自然の中で過ごすことが多いです。集落行事に小さい頃から参加していて楽しい思い出があり、自分の家族と共に参加できることは、充実した休日に繋がっています。

【企業担当者からのメッセージ】

当事業所では、新たなスタートを切りたい方を全力で支援します。移住者や求職者の夢を実現するため、多様なチャンスを提供。一緒に成長しましょう。



奄美市
02

企業情報
Work編 35

株式会社ネストアット奄美 Miru Amami
フロントデスク所属（パートタイム）
冬季：ルームメーク研修、レストラン研修（奄美およびセコ）

池田 智菜美 さん

Chinami Ikeda

PROFILE 2019年入社

2013年 奄美市の中学校を卒業
2016年 奄美市の高校を卒業
2016年 関西某テーマパーク入社
2018年 名古屋アンパンマン子どもミュージアム&パーク入社
大阪の専門学校を卒業
2019年 奄美大島にUターン
株式会社ネストアット奄美入社

ある1日のスケジュール

9:00	● 出社、メールチェック、朝食案内対応
11:00	● チェックアウト業務、予約データ入力業務
12:45	● 最終予約確認業務
13:30	● 昼休憩
15:00	● チェックイン作業、客室案内対応
16:00	● 退勤



瀬戸内
03

企業情報
Work編 03

医療法人徳洲会瀬戸内徳洲会病院
看護部 外来

宮原 由希香さん

Yukika Miyahara

PROFILE 2009年入職

兵庫県高砂市出身
2007年 医療法人徳洲会高砂西部病院へ入職
2009年 医療法人徳洲会瀬戸内徳洲会病院へグループ内応援
医療法人徳洲会瀬戸内徳洲会病院へ転勤

ある1日のスケジュール

8:00	● 出社
8:15	● 8時会(朝礼)へ出席
8:25	● 外来で朝のミーティング
8:30	● 外来業務開始(問診・処置・救急対応・内視鏡)
11:30	● 昼休憩
12:30	● 処置・外来内の環境整備
15:00	● 午後診察(問診・処置・救急対応)
17:00	● 退社

小規模だからこそ全職員の顔と名前がわかるアットホームな職場。

Q1 奄美への転職を決めたきっかけは？

グループ応援で3ヶ月間瀬戸内徳洲会病院に勤務し、兵庫県に帰った時に奄美の青い海・瀬戸内徳洲会病院のスタッフの温かさが恋しくなり奄美ロスとなりました。瀬戸内徳洲会病院の『人材』が入職につながった一番のきっかけです!! 小規模病院ならではの職員全員の顔と名前がわかること、多職種垣根を越えたアットホームな雰囲気に魅力を感じました。

Q2 いまの仕事内容は？

外来配属のため外来業務をしています。外来業務は、問診・処置・救急対応・内視鏡・整形外科や耳鼻科等の特診対応など多岐にわたります。

Q3 どんな時にやりがいを感じますか？

患者様から「いつもありがとう」と感謝の言葉の言葉をいただいた時、内視鏡下の治療(ERC・ESD)後の患者様が元気に退院していく姿を見られた時。

外来業務が多岐にわたるので医師や多職種

と学ぶ機会があり、自分の知識や技術が向上することにやりがいを感じます。

Q4 職場の雰囲気はどうか？

60床と小規模病院である当院では、全職員の顔と名前がわかります。離島・へき地のため、本土からの就職やグループ内応援のスタッフもいますが、スタッフ皆が協力し合い一人をみんなでサポートします。とてもアットホームな雰囲気です。

Q5 島で働くことについてどう思いますか？(メリット・デメリットなど)

「島」はゆっくりと時間が流れているというイメージですが、当院は地域の基幹病院でもあり24時間・365日患者様の受け入れを行っています。大規模病院のように診療科も細分化されていない分、幅広い知識や技術が必要になります。勉強することは大変ですが、その分得られるものも大きいです。

Q6 島での暮らしや休日の過ごし方は？

私は子どもが4人いますので、休日は子どもの野球の試合の応援や名瀬市街地へ買い物に出かけます。天気の良い日は、子どもたちと自宅近くの海岸でシーグラスや貝殻を見つけてお庭やお部屋に飾ったりします。

[企業担当者からのメッセージ]

奄美大島南部にある60床の小規模病院です。全国各地から集まったスタッフとともに、地域医療を支える仲間を募集しています。随時、病院見学・インターンシップも可能です。

Q1 入社を決めたきっかけは？

移住をするにあたり、相談していた方から朝日酒造の求人情報を教えてください、応募しました。面接の際に社長がおっしゃっていた「Work life balance」ではなく、まずは人生、生活を大切にすべきという考えの「Life work balance」という考えに共感し、入社を決めました。

Q2 いまの仕事内容は？

焼酎の製造に携わっており、主に、米蒸しや麹作りなどの一次仕込みから、三次仕込み前の黒糖溶解、焼酎粕の散布などを担当しています。前職の小売業の経験を生かし、蔵に見学に来た方たちの対応などもしています。

Q3 どんな時にやりがいを感じますか？

でき上がった焼酎の味見をして、「うまい!」と思ったときです。販売職の経験しかなかった自分が、米蒸しや麹の温度管理といった焼酎造り時の肝となる仕込みの工程に携わっていることもですし、業務に必要な技術が向上するなど、自身の成長が昨年を超えたなと思えた時にもやりがいを感じます。

Q4 職場の雰囲気はどうか？

最高です!自分の上司、先輩は10歳~20歳上と年齢は大きく違う中で、自分の意見に耳を傾けてくれ、チャレンジさせてもらえる事や、島の生活の中でのアドバイスをくれるなど、温かく風通しが良い最高の職場です。

島で働くことで笑顔が増えるかどうかは、自分の考え方や捉え方次第。

Q5 島で働くことについてどう思いますか？(メリット・デメリットなど)

スピード感は関東に比べて遅いとは思いますが、その分しっかりと学べる時間や体制があります。職種が少ない為、過去のスキルを自身でどう生かせるかを考える必要がありますが、島で働くことで笑顔が増えるかどうかは、自分の考え方や捉え方次第だと思えます。

Q6 島での暮らしや休日の過ごし方は？

仕事は定時で終わる為、帰宅後に家族みんなでの散歩に行ったりしています。休日は妻と0歳の息子、愛犬と一緒に公園でボール投げをしたり、芝生でゴロゴロするなど、のんびり過ごしています。他には、友人の演奏を家族で聴きに行ったりもします。

[企業担当者からのメッセージ]

サトウキビ栽培や黒糖作り、黒糖焼酎造りを通じて、「ものづくり」の楽しさを体験できます。さらにその魅力をお客様に伝えることで、世界中のお客様と繋がることができます。



喜界島
04

朝日酒造株式会社
製造課

企業情報
Work編 01

河原 健一さん

Kenichi Kawahara

PROFILE 2022年入社

神奈川県藤沢市生まれ
1994年 神奈川県の中学校を卒業
1997年 東京の高校を卒業
2001年 キャップジャパン株式会社入社(東京都)
2017年 株式会社プレジール入社(東京都)
2022年 喜界島に移住
朝日酒造株式会社入社

ある1日のスケジュール

8:00	● 出社、朝礼
8:30	● 米蒸し、醪(もろみ)仕込み
12:00	● 昼休憩
13:00	● 米蒸し、麹造り、蔵見学対応
15:00	● 休憩、権(かい)入れ
17:00	● 日報、終礼、退社

こんな職業もある
1

田中 良洋さん

Yoshihiro Tanaka
株式会社ステキカク代表
Webライター、ドローンパイロット、動画クリエイター、観光ガイドなど

兵庫県出身。2017年、30歳のときに奄美大島に移住。予備校のスタッフをしながらフリーランスとしてドローン撮影、家庭教師、Webライター、映像制作、シュノーケリングガイドなど、いろいろな仕事を手がける。2019年と2020年には、奄美市のフリーランス寺子屋で講師を務める。2021年、株式会社ステキカク

を設立。奄美群島を中心に、島の自然や文化を伝える活動を行っている。都会では専門的なスキルが求められるが、島では幅広くいろいろなことができるのが強みになるため、様々な取り組みに挑戦している。



Instagram

MESSAGE

夏はシュノーケリングガイドをして、冬は映像制作を。季節ごとに自分の仕事をコントロールしています。晴れていたら仕事を投げ出して海でドローンを飛ばしたり、疲れたら夜に星を見に行ったり。フリーランスも楽しいですよ!





徳之島
05

道の駅とくのしま
駅長

保岡 笑さん

Emu Yasuoka

PROFILE 2023年入社

鹿児島県大島郡徳之島町花徳生まれ
2007年 徳之島町東天城中学校卒業
2010年 鹿児島県立徳之島高等学校卒業
2014年 駒澤大学文学部卒業(東京)
東和産業株式会社入社
2023年 徳之島にUターン

ある1日のスケジュール

8:30	出社、清掃、開店準備
9:00	開店、レジ対応、出荷者様対応
12:00	昼食
13:00	レジ対応、商品補充
15:00	事務作業
17:00	退社

過度な緊張感もなく、
程よい距離感で
協力し、ゆったりと
働いています。

Q1 入社を決めたきっかけは？

前職の接客業を辞めて、両親のためにも島に帰ろうと思っていた矢先、当時建設中の道の駅スタッフとして働かないかとお話をいただきました。販売スタッフは経験したことがなかったのですが、前職で培った接客も生かせるのではと思い、応募しました。

Q2 いまの仕事内容は？

道の駅の物販コーナーで、販売スタッフとして業務しています。レジ対応や商品の補充、生産者や出荷者の方々への対応のほか、商品の発送や梱包、事務作業など、多岐にわたります。

Q3 どんな時にやりがいを感じますか？

お客様から「ありがとう」というお言葉をいただいたときです。商品説明や配送手配を行

う際によくお声がけいただくのですが、私たちにとっては当たり前のことでも感謝していただけることに、こちらもありがたい気持ちになります。同時に、これからももっと頑張ろうと思える瞬間です。

Q4 職場の雰囲気はどうか？

落ち着いた雰囲気、それぞれが自分の業務に集中しつつ、困ったときには自然と声を掛け合える職場です。過度な緊張感もなく、程よい距離感で協力し合えるので、ゆったりと働いています。

Q5 島で働くことについてどう思いますか？
(メリット・デメリットなど)

仕事の選択肢は都会に比べると限られるとは思いますが、今の職場ではお客様やスタッフ間でも人とのつながりを感じられ、ゆったりと働ける環境でもあると感じています。

Q6 奄美での暮らしや休日の過ごし方は？

休みの日は趣味の釣りに行ったり、友人たちと飲みに行ったりと、楽しく過ごしています。自然豊かで人とのつながりが深い島のおかげで、日々楽しく過ごせていると感じています。

【企業担当者からのメッセージ】

道の駅とくのしまは、徳之島の特産品や観光の魅力を発信する玄関口です。お客様とのふれあいを通して、地域の良さを直接伝えられる、やりがいのある職場です。

Q1 入社を決めたきっかけは？

前職が建設会社の事務で、社会保険・雇用保険の適用があるかなどの確認をしていくうちに社会保険について興味を持ちました。祖父の介護のために徳之島へ戻ろうと考えていた時に求人を見つけ、仕事をしながら社労士の勉強できたらなと思ったのがきっかけです。

Q2 いまの仕事内容は？

業務委託企業の勤怠管理、一般的な申請の手続き、入退職者の管理等を行っています。

Q3 どんな時にやりがいを感じますか？

様々な人の勤怠情報から一人ひとりの背景を想像するようになりました。毎月勤怠を見ながら勝手に心配したりほっとしたりしています。1ヶ月見続けた勤怠を基に最終給与計算が終わった時、ひとつの職務の区切りに達成感があり感慨深いです。

Q4 職場の雰囲気はどうか？

基本的には個々での作業が多いですが、社労士の業務についても、社労士業務とは別に行っているカフェ業務についても、相談したり、意見を求められたり、協議しながらフラットに連携が取れる職場です。

Q5 島で働くことについてどう思いますか？
(メリット・デメリットなど)

情報の通過速度が速い今の時代、常に最新のものに触れる機会や、都会で働く方のように

休日のふとした瞬間に、豊かで贅沢な時間だなど
思います。

多くの人と出会うことはありません。移動を求められる職業には交通手段、費用等含め離島はまだ不向きかもしれないと思うこともあります。ただ「離島だから、ここまでしかできない」というようなこと自体は限られてきていてはならないかと思っています。

Q6 奄美での暮らしや休日の過ごし方は？

休日はほぼ家において介護や勉強の隙間で映画やアニメを観たりと、島外にいた頃と変わらない過ごし方をしています。ですが、庭から見える海や買い物に見える空がとてもきれいで、ふとした瞬間に豊かで贅沢な時間だと思っています。

【企業担当者からのメッセージ】

共に働く仲間を想像し、そしてなにより「自分自身を大切に」企業風土へ。これからも、地縁・血縁・ご縁、この土地の方と豊かな時間を過ごせるように企業運営をしていきたいと考えています。



徳之島
06

企業情報
Work編 03

うみかぜ総合法務事務所
社会保険労務士事務所/労務管理

前畑 玲奈さん

Reina Maehata

PROFILE 2021年入社

鹿児島県大島郡徳之島町亀津育ち
2008年 徳之島の中学校を卒業
2011年 徳之島の高校を卒業
2015年 京都の大学を卒業
株式会社コスモネット入社(宮崎県)
株式会社夢真入社(東京都)
2019年 徳之島にUターン
2021年 うみかぜ総合法務事務所入社

ある1日のスケジュール

8:30	出社 メッセージ確認
9:00	勤怠確認、申請書作成、給与計算
12:00	昼休憩
13:00	勤怠確認、申請書作成
17:00	退社



こんな職業もある
2

山越 織江さん

Oriie Yamakoshi

果樹・野菜農家
グラフィックデザイナー

北海道出身。東京農業大学在学中、栄養学を学んでいたが、自身が農業について無知であることに気づいたことがきっかけで農業に関心を持ち始める。EC関連の会社に勤務後、農家への転職を考え、奄美大島に移住。農家になるうえで、デザインができれば自分の強みになると考え、2年間の農業研修中に、奄美市で開催

されたデザインセミナーを受講する。現在は農家として美味しい作物を提供できるよう日々試行錯誤する傍ら、デザイナーとしても活動中。奄美大島の農業は、温暖な気候を生かして他地域と出荷時期をずらしたり、南方ならではの作物や奄美在来種の栽培など、様々なチャンスが眠っていると感じている。



MESSAGE

奄美大島の農業を守るには若手の力が絶対に必要です。研修制度を利用して未経験でもスタートできますので、多くの方に興味を持って欲しいです。



07

社会福祉法人和泊町社会福祉協議会
地域福祉課

大平 美澄さん

Misumi Ohira

企業情報
Work編 04

PROFILE 2023年入社

奄美市名瀬生まれ
2000年 与論の中学校を卒業
2003年 与論の高校を卒業
2007年 福岡県の大学を卒業
株式会社スズキ自販福岡入社(福岡)
株式会社ケアリング入社(福岡)
2018年 社会福祉法人仁風会 救護施設
仁風園入社
2023年 沖永良部島に1ターン
社会福祉法人和泊町社会福祉協議会入社

ある1日のスケジュール

- 8:20 出社・メールチェック
- 8:30 朝礼・各職員業務内容の確認、書類確認
- 9:00 施設・自宅訪問(在宅状況の確認) 担当事業関連者 生活状況の確認・面談調整
- 12:00 昼休憩
- 13:00 報告書作成・システム入力等事務処理 担当事業関連者 訪問・連絡
- 17:30 メールチェック・翌日の業務確認・業務終了

自然が多く、子育てにはとても良い環境。休日は公園や海岸へ。

Q1 入社を決めたきっかけは？

救護施設での勤務時、入所者の多くが長年にわたり施設での生活を余儀なくされている様子が疑問を感じていました。そして、誰もが抱く「住み慣れた地域で生活したい」という願いを直接支援する地域福祉活動に関心を持つようになったことがきっかけです。

Q2 いまの仕事内容は？

生活に不安を抱える方が地域で安心して暮らしを続けられるよう、早い段階から相談に応じ、関係機関と連携しながら、一人ひとりの状況に応じた自立に向けた伴走型の支援を行っています。

Q3 どんな時にやりがいを感じますか？

【みんなでやる課】が地域福祉課のモットーなので、互いに協力し合い、日々の業務の中で相談しながら一つひとつやり遂げていく過程にやりがいを感じます。

Q4 職場の雰囲気はどうか？

地域福祉課長を含め、11名の職員が在籍していますが、あらゆる事例を一人で抱え込まず、皆で検討して対応しています。そのため、勤務年数や年齢に関係なく話しやすいことが大きな特徴です。

Q5 島で働くことについてどう思いますか？(メリット・デメリットなど)

自然が多く、子育てにはとてもいい環境だと感じます。一方、医療機関については、専門医が常駐していないため、緊急時は島外で…といった点に不便を感じます。

Q6 島での暮らしや休日の過ごし方は？

年間を通して暖かい日が多いので、お弁当やおやつを持って子どもと公園へ行ったり、海岸でシーグラスや貝殻探し等をして過ごすことが多いです。

【企業担当者からのメッセージ】

“島が好き”“まちが好き”“人が好き”な明るく元気な求職者、または転職希望者のお問合せをお待ちしております。福祉関係の資格取得に関するご相談も承っておりますので、お気軽にご連絡下さい。

休みの日には、インドネシアでできなかったマリンスポーツを楽しんでいます。

でいたという話を聞くと、とてもうれしく思います。

Q4 職場の雰囲気はどうか？

スタッフ全員の仲が良く、温かい方たちばかりです。先輩たちもやさしく色々なことを教えてくれたり、アドバイスをくれたりします。リスマさんという同じインドネシア出身の20代の方もいるのでとても心強いです。

Q5 島で働くことについてどう思いますか？(メリット・デメリットなど)

個人的にはとても満足していて、不便に思うこともありません。私の地元はインドネシアの中でも割と大きな島ではありましたが、16歳から都会に出て学校に通っていたので、田舎のゆったりとした場所で働きたいという願望がありました。なので、ヨロン島はまさにその願望をかなえるような場所です。

Q6 島での暮らしや休日の過ごし方は？

仕事終わりで天気の良い日は、ビーチに夕焼けを見に行ったり、星空の写真を撮ったりしています。お休みの日には、海で泳いだり、ウィンドサーフィンに挑戦したりと、インドネシアではできなかったマリンスポーツを楽しんでいます。

【企業担当者からのメッセージ】

ある移住者は「だんだん人間らしくなってくる島」と表現していました。ヨロンは既存概念を捨てて、物語を始めるのにぴったりの島。自然や人とのつながり、自分自身を大切にしたい人、お待ちしております。



08

与論島

企業情報
Work編 02

タツミ
医療法人龍美会
介護老人保健施設 風花苑 介護士
エカ・アプリリヤさん

PROFILE 2022年入社

インドネシア出身
2018年 インドネシアの高校を卒業
2021年 インドネシアの看護専門学校を卒業
2022年 インドネシアの日本語学校を卒業
医療法人龍美会入社

ある1日のスケジュール

- 7:30 出社、移動補助
- 8:00 朝食配膳、食事介助、下膳
- 9:00 入浴介助ヘルプ
- 11:00 昼食配膳、食事介助、下膳
- 12:00 昼休憩
- 13:00 おやつ配膳、食事介助、下膳
- 14:00 排泄介助
- 15:30 移動補助
- 16:00 退社



「奄美群島で働くって、実際どうなの!？」をさらに知りたいあなたに…



大島支庁では、令和4年度に、奄美群島内で働くことの魅力を発信するため、奄美群島で暮らす方の様子を紹介する動画を制作しました。「Iターン者」、「Uターン者」、「地元高校出身者」の3名の方に、仕事の様子やプライベート時間の楽しみ方など、「島で働くってどうなの!？」と生の声をインタビューしています。動画は、鹿児島県公式YouTubeチャンネルにて公開しています。

新たなライフスタイルのために、奄美群島で働く選択をしてみませんか?ぜひご覧ください! 鹿児島県HP(pref.kagoshima.jp)の以下カテゴリからご視聴いただけます。 鹿児島県HPホーム > 鹿児島インターネット放送局 ムーブ!かごしま > 5CH かごしま暮らしナビ > その他



INFORMATION



「かごしま移住ネット」では、鹿児島県内市町村の移住支援制度や、セミナー・相談会などのイベント情報、ワーケーションに関する情報などを紹介しています。



かごしま「よかところ」暮らし支援センター

鹿児島県への移住に興味のある方や移住を検討している方などに対し、専門の相談員が生活環境や住まい、移住支援など幅広い相談に応じています。



住 所：東京都千代田区有楽町2丁目10番1号 東京交通会館8階
ふるさと回帰支援センター・東京内
電 話：080-7731-7915
メール：kagoshima@furusatokaiki.net
時 間：火曜～日曜 10:00～18:00 (月曜、祝日、年末年始を除く。)



鹿児島県の企業情報・求人情報・インターンシップ・就職関連のイベントなど、鹿児島県で就職したい方のお役立ち情報満載の就職情報ポータルサイトです。下記の「移住支援金制度」の対象となる求人も掲載しています。



移住支援金制度

東京23区(在住者又は通勤者)から移住対象市町村に移住し、対象求人に応募し就職した方などを対象に支援金(最大100万円、子育て世代にはさらに加算あり)を支給する制度です。※支給には要件があります。



UIターンを希望する方に対し、求人情報の提供や就職相談・職業紹介を行っています。就職に関する相談は、電話やメールでも受け付けています。



住 所：鹿児島県鹿児島市鴨池新町10番1号
鹿児島県庁行政舎10階
商工労働水産部産業人材確保・移住促進課内
電 話：0120-445-106 / 099-250-6855 (携帯・スマホ)
メール：f-jinzai@pref.kagoshima.lg.jp
時 間：月曜～金曜 8:30～17:15 (祝日、年末年始を除く。)



鹿児島県公式LINE「もどかご!」は、県内企業の情報や県内各地の旬の話題などを月2～3回のペースで配信しています。鹿児島で「暮らす・働く・遊ぶ」魅力をお伝えします!



ぜひ、LINEの「友だち登録」をお願いします。



「ねりやかなや」は奄美の方言で「海のかなたの楽園」を意味し、楽園・奄美群島へのUIターンを考える方に「慣習」「インフラ」「住まい」「仕事」「先輩たちの体験談」などの情報を提供しています。



Facebook



Instagram

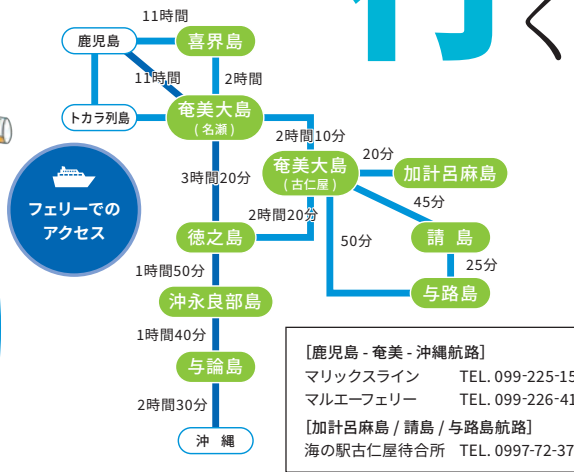
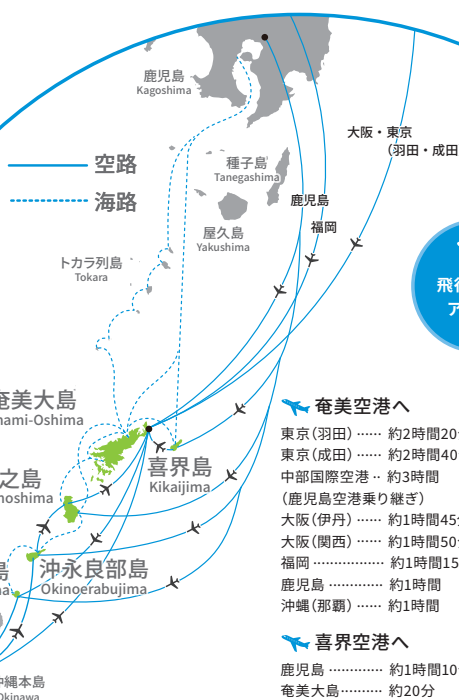
各市町村移住相談窓口

市区町村名	担当課	TEL	市区町村名	担当課	TEL
奄美市	企画調整課	0997-52-1111	徳之島町	企画課	0997-82-1112
大和村	企画観光課	0997-57-2117	天城町	企画財政課ふるさと創生室	0997-85-3116
宇検村	企画観光課	0997-67-2218	伊仙町	未来創生課	0997-86-3112
瀬戸内町	総務企画課	0997-72-1112	和泊町	企画課	0997-84-3512
龍郷町	龍郷移住ガイドセンター 住もうディ!	090-7760-9491	知名町	企画振興課	0997-84-3162
喜界町	企画観光課	0997-65-3683	与論町	総務企画課	0997-97-3111

GO TO AMAMI

奄美へ行く

飛行機や船で島々や島外へとつながっており、比較アクセスしやすいのが特徴です。



[鹿児島 - 奄美 - 沖繩航路]
 マリックスライン TEL. 099-225-1551
 マルエーフェリー TEL. 099-226-4141

[加計呂麻島 / 請島 / 与路島航路]
 海の駅古仁屋待合所 TEL. 0997-72-3771

鹿児島県大島支庁
 総務企画部 総務企画課
 〒894-8501 奄美市名瀬永田町17番3号
 TEL. 0997-57-7212

制作：株式会社しーま
 発行：2026年3月
 掲載内容は発行時点の情報となります。